

第 72 回 大腸癌研究会ガイドライン委員会 議事録 (案)

日時 平成 22 年 1 月 14 日 (木) 10 : 00 ~ 11 : 00

場所 久留米萃香園ホテル 2F 鶴

司会 : 渡邊聡明

出席者 : 杉原健一会長、五十嵐正広、石黒めぐみ、板橋道朗、伊藤芳紀、上野秀樹、大倉康男、小口正彦、落合淳志、金光 幸秀、固武健二郎、斉藤豊、坂井義治、島田安博、田中信治、高橋慶一、濱口哲弥、室圭、吉野孝之、渡邊聡明 (以上敬称略・五十音順)

欠席者 : 味岡洋一

1. 開会挨拶 (渡邊)

2. 委員紹介と組織体制 (資料 1) (渡邊)

- ①会長 杉原健一先生ほか各分野別責任者、委員、協力者、アドバイザーの組織体制が発表された。
- ②これとは別に「評価委員会」を設け、「作成委員会」と「評価委員会」で今後の作業を進めていくことが報告された。

3. ガイドライン 2009 年度版 (渡邊)

- 1) ガイドライン 2009 年度版が大腸癌研究会ホームページにアップされた。
- 2) 今後、Mind のホームページ, および国立がんセンターのリンクも 2009 版にアップする予定。
- 3) 癌治療学会ホームページに掲載中の「構造化抄録」を 2009 年度版用に改訂するため、厚生労働省平田班会議と共同作業を行っており、今後、最終的な仕上げの段階で各担当の先生方のご協力を頂きたい。
- 4) 2013 年に改訂版を出すことを踏まえ、今回のガイドライン 2009 に対するアンケート調査を実施する。
世話人会、施設代表者会議でアンケート用紙 (2 枚) を配布する。
 - ①今後必要とする CQ についておよび書式についての意見 (記名式)
 - ②現在のガイドラインに対する問題点
 - ・新しい CQ を募る際、提案者とのやりとりが必要と思われるので記名式が良い。
 - ほかのガイドラインで作成しているような通常疑問形にするかどうか検討してほしい (固武委員)
 - ・2009 年版の CQ 方式で良いか、具体的にどのような方式がよいのか意見を求めたほうが良い (島田委員)
- 5) 発行後 1 年をメドに使用状況についてのアンケート調査を実施する。

4. NCCN ガイドライン日本語版作成経過 (固武委員)

- 1) ・NCCN の大腸癌ガイドライン日本語版を TRI (臨床研究情報センター) のホームページへ掲載することについて杉原会長宛にお話があり、大腸癌研究会が翻訳・監訳を担当することになった。
さらに専門家によるコメントの付記が必要となった。
Colon cancer, Rectal cancer, Anal Carcinoma, Colorectal Cancer Screening の 4 つのガイドラインがあり、今月中に Colon cancer と Rectal cancer については公開予定。Anal Carcinoma, Colorectal Cancer Screening は 2 月ないし 3 月位に完成予定。
- 2) 今後の NCCN 日本語訳に対応するメンバーをガイドライン委員会で設定する必要がある。

5. ガイドライン改訂作業について（渡邊）

大腸癌診療ガイドライン改訂手順について資料に沿って確認。最終発刊予定は2013年7月の第79回研究集会を予定。

6. ガイドライン解説（渡邊）

2009年版ガイドラインについて新しい組織で解説版を作成する。

7. 化学療法改訂版（2010年版）（島田委員）

2009年版ガイドラインの化学療法については2010年度改訂版を発行する。

Oxaliplatinの補助化学療法での使用時 Stage II大腸癌に対する扱いについて下記の意見が出された。

【問題点の意見集約】 化学療法関係責任者 島田委員

- Stage II・IIIとそのまま記載するのではなく、IIに関してはハイリスクのStage IIというようにStage III全体での使用を推奨する。
- Stage IIIのみのほうが明確。
- あえて明確にせず、Stage II・IIIと表現。
- Stage IIは対象にせず。個人的にはStage III bと考える。
- ハイリスク Stage IIとStage IIIが良い。そこだけ定義を作ることに違和感。
- 学会として推奨すると現場では強い印象を持つ。現場としてはStage IIIが良いと考える。
- 欧米ガイドラインと相違があつてしかるべし。Stage III bが良いと考える。
- Stage IIのハイリスクと、IIIに関してはそれ以外の5-FUを含めた治療と併記しどれか一つに推奨する。

予定時間の終了に伴い、参加可能者により別室で議論を継続することを連絡し、閉会。

以上